

笑うしかない友 '21

※無断利用および改変自由。

目次

- 15 半径2メートル
- 16 違わん
- 17 異星人の歌
- 18 岡目は沈黙
- 19 マジ・マヌケ
- 20 本当と嘘
- 21 先達はあらまほしき事
- 22 月と消毒
- 23 元猿
- 24 おかしなお菓子の家
- 25 裸の王様
- 26 どこかへ

15 半径2メートル

こっち、来ないで。

え？

前、立たないで。

後ろなら？

危ないの、私、今。

今って、いつから？

知らない。

「こっち」って、どこからどこまで？

そっちからあっちまで。

あなたの肺を中心とする半径2メートルの円内？

もっとよ。

ここはどっち。

こっち。

あちはどこまで？

関係ないでしょ。

おおい。あちの人！

いないよ、そんな人。

いるかと思って、一応。
あなたの後ろもこっちよ。
そうなんだ。
出てって。
はい。
もっとよ。
どれくらい下がればいいのか。
あなたの声が私に聞こえなくなるまで。
黙ってよう。
あなたの顔が私に見えなくなるまで。
目を閉じれば？
閉じたら、来るんでしょ、こっちに。
かもね。
どうして。
「こっち」がどっちだか、わからないから。
目を閉じてても、耳を塞いでも、わかるわ、あなたの来るのが。
どうして。
匂いで。
どんな匂い？
言えない。言葉にできない。
良い匂い？ 悪い匂い。
あなたの匂い。
前にも言われた。
誰が言ったの？
さっき、あなたが。
私が？
違った？
誰よ。誰よ。
忘れた。
息をかけないで。
風が吹いただけ。
本当に風なの？
息だったら？
私、危ないの。
いつから？
知らない。意地悪。

目を開けて。

やだ。

なぜ。

怖い。

なぜ。

あなたを苦しめてしまいそうで。

16 違わん

× 行かないの？

△ ない。

× 何が？

△ イカ。

× 烏賊？

△ ない。

× ああ。行かないんだ。

△ ない。

× 行きたくないの？

△ タイ。

× 鯛？ ああ。行きたいんだ。

△ いけ。

× 池じゃなくて、ああ、行けないんだ。

△ ない。

× 着て行く服がないの？

△ ある。

× 交通費？

△ ある。

× あるんだ。

△ ケナイ。

× 毛がない？ あるけど、ない？

△ ケナイ。

× ああ。歩けないのね。でも、歩いてたよ、さっき。

△ ない。

× ちゃんと言いなさいよ。

△ ナイ。

× 何が。

- △ イエ。
- × 家なき子？ ああ。言えないんだ。なぜ。
- △ 言うなって言われたからだよ。
- × 誰に。
- △ あんただよ。
- × だっけ？
- △ 「貴様の話は長たらしくていけないから、できるだけ短く言え」って。
- × 正論。
- △ だったら、もう、犬と一緒にだろう。違う？
- × 違わん。
- △ ワン。
- × で、どこ、行くんだっけ。
- △ 湾。

17 異星人の歌

近頃、はやってる、あれ、知ってるよね。タイトル、覚えられないんだけどさ。ほら、トゥルリラリリウンチャウンチャチャ。そう。それ、それ。歌詞が聞き取れないから作ったんだ。俺、ベースやろうか。要らない？ 彼女、ベース？ じゃ、ドラム。ドラムもやるの？ じゃあ、ううんと、ドラム。おお、ドラム、来た。じゃあ、ピアノ。あれえ、鍵、掛かってんじゃん。だったら、ええっとおお、めっけえ。タンバリン。じゃあ、行くよ。ワン、ツー、スリー。

俺たちや異星人 この町では あの町でも
 俺たちや異星人 あの村では どの村でも
 俺たちや異星人 この国では あの国でも
 俺たちや異星人 この星では その星でも
 俺たちや異星人 いつの世でも 誰といっても
 ああ どうせ 異星人

おしまい。あれえ、拍手は？ 途中から入って来た、そのピアノと鉄琴とペット。何だか怪しいね。へえ、三人で住んでんの？ 月水金がマー坊、火木土がトミー。で、昼は昼顔か。じゃあ、日曜はアバンチュールだね。3P？ じゃなくて、みんなで。ブラス、ボーカル。あはは。男？ 女。レズ。ねえ、ボーカル、もう一人、要らない？ 無理？ チェッ。君、働きもんなんだね。交代。そらよっと。ネコでも弾けるピアノ。ドラえもんでも弾けるピアノ。肘でも弾けるぞお。

貴様ら異星人 みんな みんな 異星人

チェッ チェッ チェッ
みんな 死ね
はい、お～しまい。

18 岡目は沈黙

先手 王手！
後手 じゃあ、こちらは桂馬で王手飛車取り。
先手 飛車は逃げる。
後手 王、貰った。
先手 飛車で、玉、貰った。
後手 待ち駒とは卑怯なり。貰った王で飛車を取りに行く。
先手 貰った玉で王手。
後手 その玉を王で取る。
岡目 君、何してるの。
先手 将棋だよ。
後手 知らないの？
岡目 知ってるけど、一人で何をしてるの。
先手 一人じゃないもん。
後手 ねえ。
岡目 一人二役はいいけど、どうなった勝ちなの。
先手 相手の駒を全部取ったときかな。
後手 相手に「参った」と言わせたときかな。
岡目 そんなの、面白い？
先手 面白いよ。
岡目 何が面白いの。
後手 岡目をからかうのがね。

19 マジ・マヌケ

ま、水分が。
麻醉部が？
ま、大量に、ま、土壤に。
マタイ医療にマッド状に？
ま、含まれている、ま、可能性があるの。

喪服が揉まれている摩訶の性ガールで？
ま、避難の、ま、会場に。
麻痺な魔界城に？
ま、向かわれる際、ま、まどろっこしくても。
魔夢を買われるさえ、ママが泥んこを敷く手も？
ま、細い、ま、抜け道を通らず、
魔法葬に間抜けと寄らず？
ま、ちゃんと、ま、舗装された、ま、歩道を。
麻雀と魔法、そそられた魔法、どう？
ま、歩いてください。
回る手は臭い？
何ですと？
要らない「ま」を抜きましょうよ。
ちょっと失礼なんじゃありませんか。
何が？
「要らない間抜けな首相よ」とは！
言っていない。
そう聞こえましたよ。
ま、耳鼻科に行けば。
マジ、ピーカーに活け花ですか？

20 本当と嘘

え、まじっすか？
マジェス、何？
いや、あの、本当ですか。
本当って何でしょう。
今の話ですよ。
そうじゃなくて、「本当」の意味ですよ。
「本当」は本当ですよ。
困りますね。
嘘じゃないってことです。
君は、私のことを嘘吐き呼ばわりするんですか。
いや、そうじゃないんですけど。
じゃあ、私が生まれてこの方、一度も嘘をついたことがないと思うんですか。
そんな人、いませんよ。

何で知ってるんですか。
知らないけど。
じゃあ、君は、今、嘘をついたんですね。
嘘じゃなくて、あの、そう、想像ですよ。
「想像」は「本当」なんですか。
違いますよ。
じゃあ、嘘なんですね。
嘘でもないんですけどね。
今日は疲れたから、もう終わりにします。
で、さっきの話は？
想像ですよ。
「想像」ってどういうこと？
ご想像にお任せします。

21 先達はあらまほしき事

先達って先輩に教わったパワー・スポットに行ってきました。
食欲、戻ったろう。
これがそのときの写真です。
ここは違う。ただの休憩所。
でも、何だか、いい匂い、してましたよ。
おでん屋があるからさ。
じゃあ、本物は？
ずっと上だよ。神社があって、お寺があって、教会があって、その上。
だから、みんな、上を目指してたんだね。
天文台の近くに広々とした空間があってね、そこがパワー・スポットだ。
ヘリコプターの発着所じゃなくて？
大きく「工」と書かれている。
「H」だろう。
鯖朝菜で御神酒を頂いていると、妙なる音楽が聞こえてくるね。
ミョーなる？
パッパラッパア、パッパラッパア、パッパラッパア……
パッパア。「ワルキューレの騎行」かな。ヘリコプターが飛んできそう。
ヒュッ、ヒュッ、ヒュッ……
『サイコ』だったりして。
どこからともなく、綿飴のような雲が現われる。

ありがちな展開。
その上に仏様が乗っておられる。
えっ、マジっすか？
信じる者は救われたい。
狐や狸の仕業と違うんですかね。
君も狐狸ない人だな。
それを言うなら、狐疑でしょう。
狐は神様の使いなんだよ。
仏様じゃなく？
放っとけ。
その神様が悪い神様だったら？
悪神かと疑えば悪神になり、善神だと信じれば善神になる。
どうして？
人は第一原因について知り得ない。
ムズイ。
分かりやすく言うと、貝の味噌汁。
神のみぞ知るね。

22 月と消毒

女 ちょっと、お父さん、起きてくださいな。
男 うう？
女 起きられます？
男 眩しい。
女 ああ、これ。ごめんなさい。ちょっとお聞きしたいことがございまして。
男 何や。
女 どうして、こんな所で寝てらっしゃるんです。
男 こんなとこで、どんなとこや？
女 ベンチの前です。
男 根性悪のやつがな、肘掛けこさえよったんや。ベンチで寝れんようにてな。
女 ご家族、いらっしゃらないんですか。
男 おらん。おるかい、そんなもん。
女 お友達なんかは？
男 友達ならおるで、仰山、そこらに。
女 えっ？
男 あれ、泣き虫が泣いている。めそめそ、めそめそ。ええん、ええん。

女 虫さんたち。
男 おおい。「さん」付けしてもろたで。お礼せな。
女 地面の上じゃ、やっぱり。
男 段ボール、敷いとるがな。地面はベッド。空は丸天井や。
女 雨漏りしません？
男 そんなときや、そんなときや。
女 冬はどうしてらっしゃいます？
男 ええとこ、あんねん。
女 良い所って？
男 別荘や。
女 別荘にはどうやってお入りになるんですか。
男 蛇、見たんねん。
女 蛇をお飼いにってるんですか。
男 お飼いに成とる。
女 ど、どこ。
男 ここや。ここ。
女 ひゃっ。
男 ちゃうがな。臍下三寸。
女 あら、まあ。
男 こいつ見せたとな、別荘行きや。ご対面なさるか。
女 いいえ。結構です。
男 結構好きでか？ ひひひ。
女 そんなお話は、ともかく、ちょっとお手伝いしていただきたいことがあるんです。
男 何や。夏も別荘かい。
女 とんでもない。人助けです。
男 柄やない。
女 簡単なお仕事ですよ。
男 何をすんねん。
女 眠るんです。眠るだけです。
男 へえ。おとろしな。
女 前金で一万円お渡ししますよ。終わったら二万円。合計三万円になります。
男 万札でくれるんか？ 聖徳太子はん、しばらくお目にかかったらんが、お元気かいな。
女 いいえ。今は別の方です。
男 聖徳太子やないなら、何や。消毒死体か。がはは。
女 ご冗談ばかり。この薬を飲んで横になってらっしゃればいいんです。簡単でしょ？
男 ふん。大丈夫か。

女 大丈夫ですって。

男 ほんまか。命賭けて？

女 えっ？ ええ、はい。命賭けて。

男 ほな、可愛いおねえちゃんの顔立てて。

女 その前に、この書類にお名前と生年月日をお書きください。

男 いやや。

女 字をお書きになれないんですか。

男 誰に向かって口利いとんねん。こう見えてもな、高校行ってたんねんで。

女 失礼致しました。

男 途中で止めたけどな。担任がうるそうてよ。その電灯、こっち向けて。

女 はい。

男 わいの顔照らしてどないすんねん。紙や、紙の上。うん。お名前と……、生年月日と。

女 まあ、綺麗な字。

男 現住所？

女 ああ、そこはよろしんですの。私共の方でやりますから。捺印も。

男 ほんでもって、住所不定やなくなるんかいな。

女 はい。さようです。

男 豚小屋に押し込めるんちゃうやろな。

女 いいえ。形だけです。

男 書いたで。

女 はい、確かにいただきました。では、お薬をどうぞ。

男 水か何かないんか。水やのうて、何かの方がええけどな。がはは。

女 おビールでよろしければございますが。

男 おお。百点満点や。ほな、いただきませ。

女 お薬が効いてくるまで、しばらくかかります。

男 く、く、くう。

女 ハジメさん？

男 うふ。はい。何ですか。何で私の名を……。ああ、今書いたんや。そやけど、何で呼ぶねん。

女 ご本名かどうか、確かめさせていただきました。ごめんなさいね。驚かせちゃって。

男 ふう。びっくらこいたわ。本名で呼ばれて、ええことてないからな。

女 普段は何と呼ばれてらっしゃるんです。

男 呼ばれん、何とも。「おい」とか「ちょっと」とかな。手招きが多いか。

女 お仕事、何なさってるんです？

男 お仕事？ ううん、そうやな。運送屋。がはは。

女 トラックの運転とか？

男 徒歩や。とほほ。
女 荷物を担いで？
男 これやから素人は困るっちゅうねん。担いだらしんどいがな。引き摺るんや、ずるずる。
女 お勉強になります。では、一万円お納めください。この封筒に入れております。
男 中、見てええか。何や、これ。子供銀行券ちやうんかい。
女 いいえ。新しいお札なんです。
男 命賭けて？
女 ほほほ。命賭けて。
男 金もろたら、何や、ぼうっとしてきよった。おや。おねえちゃん、美人やなあ。
女 およしになって。
男 お世辞やない。ほんま美し。
女 お薬のせいですわ。
男 月明かりのせいかもな。そや。あんたの名前、聞いとかか。
女 できません。できないんです。
男 なら、わしが付けたる。ああ。月。そう。お月はんでどうや。
女 ご随意に。
男 ほな、呼ぶで。お月はん。
女 ……
男 あんなあ、一生の願いや。答えてくれ。
女 ……はい。
男 お月はん。
女 はい。
男 あははあ。楽しなあ。ああ。ええ夜や。もう死んでもええ。死のか、今夜。
女 死なないで。
男 何やて。もう一遍言うてくれ。
女 死なないで。
男 はあ。ええ夜や、ほんま。胸いっぱいや。ビール、飲みきれん。飲むか。
女 遠慮しときます。
男 くどくどとさんざ口説いて三々九度……
女 ……一夜明ければ野晒しの杭。
男 そうかい、そうかい。よう分かった。
女 ……
男 で、わいが寝てもうたら、どないすんねん。
女 このライトをあちらに向けてこう振りますと、車がやってくる手筈になっております。
男 ……
女 寝ちゃった？ ハジメさん。

男 「さん」は、いや。
女 ハジメちゃん。
男 ううん、どこのおばさん？ どっかかで見ただよな。顔じゃない。目だよ。目。
女 ハジメ！
男 ぎゃ！ ごめんなさい。ごめんなさい。僕は悪い子です。僕は悪い子です。
女 おやめ。
男 百遍言うから、ごめんなさい。僕は悪い子です。
女 ハジメさんたら……
男 ん？ 雨漏りかあ？
女 ハジメちゃん。あんたは悪い子じゃないよ。あんたは悪くない。ううん。いい子だよ。
男 ……く、息苦しい。どいて。
女 いい子だ。いい子だ。あんた、本当はいい子なんだ。悪い子だから、だから、いい子なんだよ。さあ、お言い、「僕はいい子だ」って。一遍でいいから、ねえ、そう言っとくれよ。
男 ……
女 悪い子はいい子。悪い子はいい子。そして、善人は悪人なのさ。わかるかい？ わかるよね。
男 ……
女 わかっとくれよ。ああん、もう、じれったいねえ。
男 ずずず。
女 月のお願い、一生のお願いだよ、いのちかけて。ねえ、ちょいと。
男 ……
女 ちえっ。遅いんだよ。てめえら、何、ぼおっと突っ立ってんだい。さっさと片付けな。臭いんだ、こいつ。馬鹿。そうやって引き摺るんじゃないよ、ずるずる。ああん。商売物なんだからさ、ちゃんとしな。はあ、くせえ。まあだ、くせ。そうだ。……消毒、消毒。く、く、くう。ふう。
きよらなりや、秋の夜半、
月はあるじ、むしは友。
（『埴生の宿』）

23 元猿

どうしよう。どうすればいいの。私達、共犯者にされるかも。沈黙は共犯だって。見て見ぬふりは、もう無理。見えないとこでやってくれないかな。「見えないとこでやってくれない？」なんて言えるわけないし。ああ。泣いてる。聞こえないふりしようか。みんなもそうしてるかな。どうかな。「みんなはどうしてる」なんて、聞いて回るわけにもいかないし。「みんな」って誰。私達以外みんな猿ってことにしたら、どうかな。猿だと思ってましたよ。

そうなの。本当、猿だと思ってたんです。猿でも、通報する義務がありますよ。えっ、そうなんだ。知らなかったではすみませんよ。そうなの？ そうなんだ。お向かいのベランダに何かいたのは知ってたんです。でも、繋がれてるから、というか、繋がれてるみたいだから、だから、大丈夫かなって。どうしよう。どうしよう。共犯者にされちゃう。震えてる。猿にしては大きすぎる。大きい猿もいるけど。キングコングほどじゃなくても。あれ、日光浴だよ。そうだ、そうだ。日光浴で震えるかな。猿は寒がりなんだよね。温泉に入るっていうし。人間そっくり！ 毛が生えてない。遺伝子組み換えで人間そっくりに作られた猿かも。何のためって、たとえば臓器移植。そう。そのアイデア、いけるかも。調べとこ。また、泣いてる。へえ。パンツ、穿いてんだ。パンツだよ。違う？ 腰のあたりだけ赤い猿。じゃなくて、オムツか。赤いオムツ？ あるかも。帽子、被った。脱いだ。被った。何してるの。脱いだ。帽子、見てる。まじまじ。あっ、噛んだ。なぜ、なぜ、なぜ。被った。脱いだ。片手で捧げて、振ってる。助けてってこと？ 私達に？ 知ってた、私達のこと？ いやだ。困る。助けられたとき、告げ口されるかも、私達にSOSを送ったのを見て見ぬ振りされたんだなんて言われたら、どうしよう。困ったな。おなかすいてんのかな。バナナでも上げようか。どうやって。ここから投げる。無理。届くわけない。ドローンで？ そんな、近所中に知れちゃうじゃない。知られないように、こっそり？ バナナ、嫌いかも。ひいおじいさん、嫌いだった。日本のバナナはまずいって。南方のは旨かったぞ。あれ食ったら、日本のは食えんな。そう言って笑って、嫌らしく金歯を光らせた。猿みたい。彼より猿がましかも。泣いてる。じゃなくて、脅し？ 共犯者めって？ 猿のくせして人間を脅すの？ もう、いい。知らない。猿に人間が操られてたまるもんですか。猿なの？ ああ、猿なんだ。ああいいう猿がいてもおかしくないよ。人間の真似をする猿。体毛を剃られて自分を人間だと思い込んだ猿。誰が剃ったの。自分で剃った。猿に刃物を持たせたら危ないよ。電気剃刀ね。なら、許す。芸をするとバナナを貰えると思ってるのかな。今度は吠えてる。言葉に聞こえる。言葉の真似をしてるのよね。飼い主がわかるふりをしてやってんだ。「おお、よしよし。ふむふむ。うん。そうだよ。賢いねえ」なんて。ひどい飼い主。それこそ虐待よ。究極の虐待。狼に育てられた人間は自分を狼だと思い込むのよ。逆に、人間に育てられた猿は自分を人間だと思い込むんだ。ひどい話。自然に返してあげなよ。故郷に錦を飾る。ちゃんと服を着せてあげてね。あつと、違った。駄目、駄目。オムツも脱がせて、素っ裸。毛が生え揃うまでは無理そう。裸だと、ジャングルで風邪ひいちゃうかな。獣医なんか、いないしね。帽子だけは渡してくれないかも。お気に入りみたいだもんね。必死になって抵抗するよ、きっと。帽子を被った猿。仲間に苛められるな。逆に、帽子の取り合いになるかな。趣味悪い。「助けて」って言ってるのよ。何語か、わからないけど。猿語かも。えっ、猿語って？ 私達が猿語を覚えてやれば、あいつが何言ってるか、わかるよ。でも、どうやって？ 人間は、元は猿だったんだって。だったら、記憶を辿れば猿語を思い出せるかも。あつ、そうか。カーテン、閉めちゃえば。簡単じゃん。さて、私達は去る。

24 おかしなお菓子の家

どこにいるの。

ここ。

どこ。

ここ。ここ。

どうして竈なんか……

どうしてと言われましても。

苦しくないの？

苦しいけど。

でも、隠れてるわけ？

さあ。

隠れてるのね。

そうとも言える、君が聞きたいように答えるとすればね。

どうして隠れてるの。

どうしてと言われましても。

出たくないの？

出たくなくはありません。

どうして出ない…… 聞いても無駄ね。

無駄と承知で聞いてみたらどうですか。

どうして出てないんですか。

出たくなるためだよ。

今は出たくないってこと？

そうとも言える、君が聞きたいように答えるとすればね。

本当は出られないのね？

そうとばかりは言えない。

何なのよ、もう。出てよ、そこにいられたら邪魔なの。

命令？

そうだよ。命令。

だったら出られない。

命令されるのが嫌いなんだ。この天邪鬼め。

そうとも言える、君が聞きたいように答えるとすればね。

じゃあ、いい。点火するぞ。

なるほど、そういう魂胆だったのか、グレーテル。

私はグレーテルじゃない。

やっぱり魔女か。

出る気になった？

まあね。

これでやっとお菓子が焼けるぞ。

その前に、君もちょっと入って見ないかい。

なるほど、そういう魂胆だったのか、ヘンゼル？

私はヘンゼルじゃない。

25 裸の王様

王様は裸だ。

素っぼんぼん。

お妃様もよ。

素っぼんぼん。

しかも素っぴんぴん。

ヌードはファッション。

エコだし。

ロハだし。

裸は王様だ。

お姫様もね。

おいらは脱ぐぜ。

すっぼんぼん。

あたいも脱ぐわ。

すっぼんぼん。

着衣はエロだ。

着エロ廃止。

自然に帰ろう。

素っぼんぼん。

そこの笑ってる君。

君も脱ぐんだよ。

素っぼんぼん。

26 どこかへ

まず、洗っていきます。

洗って、どこ、行くの。

次に、切っていきます。

切って、どこ、行くの。

焼いていきます。

焼いて、どこ、行くの。

焼けた所から食べていきます。

食べて、どこ、行くの。

食べ終わったら、行きます。

どこへ。

どこかへ。ここではないどこかへ。

洗う前にそうすればよかったね。

(終)